

授業科目	保育内容「人間関係」(CD クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21408J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	河淵 洋美							
授業概要	<p>本科目は、保育のねらいと内容の一つである「人間関係」について理解するためのものです。乳幼児が園生活において育む「人とかかわる力(社会性)」の発達について、また集団づくりやグループ活動、トラブルになり易い問題行動について理解するための科目です。</p> <p>保育者として理解してほしい基本概念について、実習での体験や様々な実践事例を参考にしながら学びを深めていきます。</p> <p>テキストを基にすすめます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領と保育所保育指針における保育のねらいと内容「人間関係」について、他領域とも関連させながら説明できる。</li> <li>2. 園生活における「人とかかわる力」の育ちについて、遊びとも関連させながら説明できる。</li> <li>3. 園生活における子どもの集団づくりやグループ活動について、実習経験も参考にしながら説明できる。</li> <li>4. 園生活でトラブルになり易い問題行動と保育者の対応について、実習経験も参考にしながら説明できる。</li> <li>5. 乳幼児の「人とかかわる力」を育てるための保育者の働きについて、実習経験も参考にしながら説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	30	20	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20		10		30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			20	20	10		50	
技能・表現 (DP5-3)				10		10	20	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
一人の人間として社会との関係をどのように築いていくか常に考える視野の広い保育者になってほしい。				保育のねらいと内容「人間関係」についてよく理解し、それを実習等の体験に対応させて課題解決のために活用できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	オリエンテーション 科目の内容、講義計画、評価等について説明する。 社会情動的スキルとは何かを学ぶ。	講義	OECD とは何か理解する。	復習: 当該部分の復習 30
2	園生活での「人とかかわる力」の発達(1) 遊びの中で育つ人間関係 子どもと保護者、保育者とのかかわり	スキルの相互作用について ワークシート	認知的スキルと社会情動的スキルとの相互作用について理解する。	復習: 当該部分の復習 30
3	園生活での「人とかかわる力」の発達(2) 自立・自律の発達 ルールのある遊びと保育者の援助について	講義	乳幼児期にふさわしい生活の展開 事例研究	復習: 当該部分の復習 30
4	園生活での「人とかかわる力」の発達(3) 身近なかかわりのなかで育つ「かかわる意識と役割活動」を考える。	実践事例の考察 レポート①	実践事例を読み込む。 自分なりの方法を考える。	復習: 当該部分の復習 30
5	園について」生活における集団活動の展開(1) 個と集団の育ち: 多様な人間関係について学ぶ。	講義 子どもが集団で育つとは?	遊びの概念、遊びで育てられるものとは?	復習: 当該部分の復習 30
6	園生活における集団活動の展開(2) 仲間とのふれあいと子ども同士のかかわりについて。 自己調整力とは?	実践事例の考察	事例研究 衝動的な欲求と自己抑制について。	復習: 当該部分の復習 30
7	園生活における集団活動の展開(3) 集団の構造: 関係性をみる目を養う。 折り合う姿①	講義 ワークシート 折り合う姿をまとめてみる。	折り合う姿という視点からとらえる。調和のとれた自律性について。	復習: 当該部分の復習 30
8	園生活における集団活動の展開(4) 関係性を深めるとは? 他者や自分自身を理解しながらどのような行動が可能か考える。	実践事例の考察 レポート②	事例研究	復習: 当該部分の復習 30
9	道徳性の芽生え ・規範意識の芽生え ・育ちを支える多様な人間関係	乳幼児の発達過程を再度確認する。	各年齢ごとの実践事例を考察する。	復習: 当該部分の復習 30
10	課題を持つ子どもと保護者支援 乳幼児期の小さいいざこざやトラブルなどの受け止め方を考える。	保護者支援を実例から学ぶ。	課題や問題は保育を見直すきっかけであり、チャンスでもある。子どもの何を見るか考える。	復習: 当該部分の復習 30
11	「けんか」への対応について 園生活の決まりと葛藤、保育者の援助について学ぶ。	実践事例の考察 レポート③	トラブルは避けるべきか? 保育者の援助と支援の方法について考える。	復習: 当該部分の復習 30
12	気になる行動とその理由について 「気になる行動」とはなにか? その課題。 保護者対応と、保育者同士の人間関係。育ちあう大人のひとのかかわり。	気になる子どもと気にしている子どものとらえ方。 目指す保育者像とは。	一人一人が自己発揮できる保育者集団とは? 私が目指す子ども像、教師像、保育士像を考える。	復習: 当該部分の復習 30
13	園内の協力体制について 「人とかかわる力」の発達を促す保育者の協力体制について学ぶ。	社会生活における自分自身の立ち位置を考える。	語り合う保育者集団。自分の力を十分発揮できるか? 良い保育とは?	復習: 当該部分の復習 30

14	まとめ 共感性をもって人と人がかかわることや、自我の育ちと自己抑制についての学びをまとめる。	授業を振り返りまとめのレポートを作成する。	授業を振り返り、人間関係とは何か自分なりにまとめる。	復習: 当該部分の復習 30
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日常から、子どもにかかわる出来事やニュースに興味・関心をもち、自分なりの解釈や考察を試みることが重要です。			
テキスト	社会情動的スキルを育む「保育内容 人間関係」: 乳幼児期から小学校へつなぐ非認知能力とは無藤隆, 古賀松香 編著 北大路書房			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育の友(社会福祉法人全国社会福祉協議会出版部) 日本保育学会編「保育学講座」			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習の場ではもとより、日常生活の様々な場面での子どもと保護者、職員など周囲の人々に興味・関心をもち、それらをよく観察して、理解・考察する努力をしましょう。			

達成度評価に関するコメント	<p>期末試験はありません。</p> <p>実践事例の分析や感想など時々レポート提出があります。</p> <p>レポートの提出期限厳守とその内容によって評価します。</p> <p>また、その他に授業貢献度として、講義ごとに私語を謹んで積極的に学んでいるかなど態度を評価します。</p> <p>毎回の授業の積み重ねで、人間関係を築く基本を学び、自分自身を取り巻く周囲の人とより良い関係づくりができるようにしましょう。</p>
---------------	---